

目標達成計画

事業所名 グループホーム ざほん

作成日： 令和5年3月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かつたり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦點化できなくないうよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

		現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
優先順位	項目番号				
1	4	コロナ禍が長引いたため、以前のような運営推進会議による地域、ご家族、ご利用者、施設をうまくつなぐ機能を果たせていない。	開かれた施設だと理解して頂き、気軽に相談、来苑していただきたい。また、運営推進会議にて、施設の役割や、地域に対し出来る事、地域を巻き込んで協力体制を築いていきたい。	運営推進会議が約3年書面での対応となり、面会も出来ず、閉鎖的なイメージが出来ている。まず、グループホームとは何かを理解して頂き、その後、運営推進会議とは、またその役割を丁寧に説明し、以前のような活発な意見交換が出来る場にしたい。	10ヶ月
2	10	現状、面会の制限がある為、ご家族様からのご意見が反映されにくい環境にある。	ご家族の意見が反映された運営を行う。	運営推進会議の前月に電話連絡をいれて、ご家族に何かご意見がないか聞いていたが、ご意見にくいようなので、施設でどのような生活をされているか分かれるようないし、ご家族に入居者様の写真をお送りし、状態報告をする。開かれた施設であると認識して頂けるよう、今まで以上にご家族との連絡を取れるよう、今まで以上の連絡を取る。	6ヶ月
3	35	災害時の地域との助け合いについて	地区、また近隣住人様、近隣施設との災害時の連携を深める。	運営推進会議に時に地区長様と話す機会を設け、災害時の施設の役割や施設への理解、ご利用者様への理解を深め、地域密着で施設が出来る事、施設がして欲しい事を伝えておく。また、認知症への理解を促進する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。